

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	e-ビジネス	科 目 名	e-ビジネスデザイン技術	科目コード	T1980C1
配 当 期	前期	授業実施形態	通常	単 位 数	2 単位
担 当 教 員 名	廣本 亜矢子	履修グループ	3A(SI)	授業方法	講義
実務経験の内容	2007年に株式会社ワイドブックを設立。12年に亘り役員として会社の経営に携わるとともに、人材育成コンサルタント（現職）として若い世代の人材育成、企業内人材育成に携わっています。主な活動内容として、インテリア関連ビジネス立上げ時コンサルティング、大学での新規ビジネス企画講座の実施、ICT 活用関連の検定試験ブランディングコンサルティングの実施、基本行動分析・改善プロジェクト実施、企業や文科省関連事業の e-learning 化における学習用コンテンツ制作（画面、テンプレートデザイン、イラスト等作成を含む）、映像編集等の実務、及び一連のプロジェクト運営など手広く取り組んできた経験をもとに、実践的な指導を行います。				
学習一般目標	IoT、AI 等、現在社会における IT 分野の進歩はますますスピードを増しています。自分たちが持つ技術をどのような形で世に出すか、その技術を理解している技術者こそが新しいビジネスを創り出す時代がきています。本講座では、ビジネスの仕組みを理解し、技術者としての立場から新しいビジネスの企画・立案を行うための基礎能力の習得を目指します。				
授業の概要および学習上の助言	この授業で学ぶ能力は、イノベーションの必要性が叫ばれている現在、企業・自治体等で就業するすべての人々に要求されている能力です。授業は、講義と演習を交えて対話形式で行います。初回にグループを形成し、特に後半の演習部分では、グループそれぞれのケースに応じた学びをフォローします。ビジネスに関する前提知識は必要としませんが、これまでに学んだ技術や、現在開発されている新技術など、各自が興味ある技術について情報収集をしておくことが望まれます。				
教科書および参考書	「e-ビジネスデザイン」 (株)ワイドブック発行				
履修に必要な予備知識や技能	チームでの活動ができること。積極的に演習に参加できること。				
使用機器	プロジェクターとスクリーンを使用します。				
使用ソフト	PPT				
学習到達目標	学部DP (番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1・3	新規ビジネス企画を成功させるために必要なビジネス分析手法を理解し、活用できる。			
	1	世の中のビジネスやトレンド、専門分野の技術などの情報を自ら収集できる。			
	1・3	ビジネスモデルを企画するために必要なイノベーションに関するノウハウを理解し、活用できる。			
	1・3	「新規ビジネスモデル」を策定できる。			
	4	「新規ビジネスモデル」の提案プレゼンテーションを実施できる。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その 他	合計	
	総合評価割合			70		30				100
	学 部 D P	1.知識・理解		50						50
		2.思考・判断								
		3.態度		20		20				40
		4.技能・表現				10				10
		5.関心・意欲								
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	試験は実施しません。								
	クイズ 小テスト	授業内の提出物、演習での取り組みやその発表等により評価します。								
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)	最終回でのプレゼンテーション「新規ビジネスモデル発表」の内容により評価します。プレゼンの技術そのものは評価対象外としますが、内容が十分に伝わらないと評価に結び付きません。プレゼン資料は、PPT、紙資料等企画内容を十分に伝えるために適切なものを準備し、伝えるプレゼンをしてください。								
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他									

## 授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の 運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 4/10(水) 4/11(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・シラバス説明</li> </ul>	講義	
第2週 4/17(水) 4/18(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システムの変遷</li> <li>・現代社会とビジネス環境</li> </ul> 新規ビジネスを企画する前に、様々な情報（情報システムの変遷の理解、ビジネスの現状や現代社会の状況）を収集し社会、IT分野の現状や課題を捉えます。	講義	
第3週 4/24(水) 4/25(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造力とイノベーション</li> </ul> 新しい価値の創造について理解し、新たなモノを生み出すヒントを基にユニークなモノの創造にチャレンジします。	講義	新規ビジネス企画のアイデアをいろいろ（複数）考えておいてください
第4週 5/8(水) 5/9(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイディエーション</li> </ul> 新規ビジネス企画に必要なアイデアのヒントを考えます。新たなモノを生み出すヒントを基にユニークなモノの創造にチャレンジします。	講義	新規ビジネス企画のアイデアをいろいろ（複数）考えておいてください
第5週 5/15(水) 5/16(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアとビジネスモデル</li> </ul> 事例をベースにアイデアをビジネスモデルにするプロセスを学びます。	講義 演習	新規ビジネス企画のアイデアをいろいろ（複数）考えておいてください
第6週 5/22(水) 5/23(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスモデル キャンバス</li> </ul> ビジネスモデル キャンバスを活用し、ビジネスモデルを構築するノウハウを習得します。	講義 演習	新規ビジネス企画のアイデアをいろいろ（複数）考えておいてください
第7週 5/29(水) 5/30(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ビジネス企画のプロセス</li> </ul> ビジネス構造図 ビジネスアイデアが見える化する方法を習得します。	講義 演習	新規ビジネス企画のアイデアをいろいろ（複数）考えておいてください
第8週 6/5(水) 6/6(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスモデル構築演習①</li> </ul> 各グループで、新しいビジネスを創造します。 プレゼン時に必要となる内容を満たすための分析手法を理解し、活用します。	講義 演習	授業時間中にまとまらない場合は課題とします
第9週 6/12(水) 6/13(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスモデル構築演習②</li> </ul> 各グループで、新しいビジネスを創造します。 プレゼン時に必要となる内容を満たすための分析手法を理解し、活用します。	講義 演習	授業時間中にまとまらない場合は課題とします
第10週 6/19(水) 6/20(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスモデル構築演習③</li> </ul> 各グループで、新しいビジネスを創造します。 プレゼン時に必要となる内容を満たすための分析手法を理解し、活用します。	講義 演習	授業時間中にまとまらない場合は課題とします
第11週 6/26(水) 6/27(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスモデル構築演習④</li> </ul> 各グループで、新しいビジネスを創造します。 プレゼン時に必要となる内容を満たすための分析手法を理解し、活用します。	講義 演習	授業時間中にまとまらない場合は課題とします

第12週 7/3(水) 7/4(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスモデル構築演習⑤</li> </ul> <p>各グループで、新しいビジネスを創造します。 プレゼン時に必要となる内容を満たすための分析手法を理解し、活用します。</p>	講義 演習	授業時間中にまとまらない場合は課題とします
第13週 7/10(水) 7/11(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジカルプレゼンテーション</li> </ul> <p>企画内容の検討、シナリオ作成と発表の準備、リハーサルを実施します。</p>	講義 演習	印刷用資料原稿提出締切 7/15(月)16時 詳細は授業内で説明
第14週 7/17(水) 7/18(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション「新規ビジネスモデル発表」</li> </ul> <p>新規ビジネスを発表します。</p>	演習 発表	